

＜ 今日の説教のポイント 創世記 36章1～8節 ＞

エサウの子孫がイスラエルの敵エドムになる系図。その意味は？

①イスラエルが最も恨んだエドム。その系図を載せる？

イサクの子ヤコブとエサウのうち、エサウの系図です。ヤコブの子孫イスラエルが後に最も恨むことになるエドム人のルーツがエサウです(1, 19, 43。またオバデヤ書参照)。そんなエサウの系図を聖書がこんなに詳しく載せているのはなぜでしょうか？

②ヤコブ物語のおさらい：エサウとヤコブ、どちらの方が性悪？

私たちはなんとなくヤコブよりエサウを悪く思いがちです。しかし二人の物語を振り返ると、ヤコブがエサウを騙し(27章)、エサウはヤコブを寛大に赦したのであり(33章)、性悪なのはむしろヤコブでした。ですから、選びの民イスラエルの視点から考える先入観をここでは捨て、エサウの系図が詳しく載せられている事実からその意味を考えなければなりません。

③アブラハムの妻サラは諸国民の母。イスラエルはヤコブから出たが、エサウとその子孫も神様にとっては大事な存在！

神様が選ばれ契約を交わした最初の人アブラハムです。そこで神は、「地上の氏族は全てあなたによって祝福に入る」(12:3)と言われ、妻サラには、「私は彼女を祝福し、諸国民の母とする。諸民族の王となる者たちが彼女から出る」(17:16)と言われたのです！
もっと言うなら、聖書はアブラハムの女奴隷の子イシュマエルの系図も詳しく掲載しているのです(25:12以下)。神様にとって大事なのは選ばれた民イスラエルだけではなく、神様が造られた全ての民であり、全ての被造物なのです！「あなたはエドム人を憎んではない。彼はあなたの兄弟だからである」(申命記 23:7)。

④「私には、この囲いに入っていない他の羊もいる」

イエス様は上のように言われました。そして、そのために「自分の命を捨てる」と言って下さったのです(ヨハネ福音書 10:16-18)。私たちこそが、その羊だったのです！ 選びの民イスラエルは、神様が全てのものを救うために用いられる器です。今の私たちも同じです。この神様の福音を全ての人に伝える伝道に励みましょう！